

# 目で見るASEAN

## －ASEAN経済統計基礎資料－

1. ASEAN概要・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2. ASEAN各国経済情勢・・・・・・・・	10
3. 我が国とASEANとの関係・・・・・・・・	14

令和5年12月  
アジア大洋州局地域政策参事官室

# 1. ASEAN概要

## (1) 現在のASEAN (2022年)

加盟国 (10カ国 : ブルネイ、カンボジア、インドネシア、ラオス、マレーシア、ミャンマー、フィリピン、シンガポール、タイ、ベトナム)			
面積(2021年)	449万km <sup>2</sup>	日本(37.8万km <sup>2</sup> )の11.9倍	世界(1億4,049万km <sup>2</sup> )の3.2%
人口	6億7,945万人	日本(1億2,512万人)の5.4倍	世界(79億5,115万人)の8.5%
GDP	3兆6,223億米ドル	日本(4兆2,311億米ドル)の85.6%	世界(100兆5,620億米ドル)の3.6%
1人当たりGDP	5,331米ドル	日本(33,815米ドル)の15.8%	世界平均(12,647米ドル)の42.2%
貿易額(輸出+輸入)	3兆8,284億米ドル	日本(1兆6,437億米ドル)の2.3倍	世界(49兆5,327億米ドル)の7.7%

(出所) 面積、人口、GDP : World Bank, World Development Indicators database  
 貿易 : IMF, Direction of Trade Statistics

(注) 面積については2021年の統計を使用  
 1人当たりGDPは、名目GDPを人口で除して当室で算出

## ASEAN 加盟国



## (2) 他の地域経済統合体との比較 (2022年)

	加盟国	人 口	G D P	1人当たりG D P
東南アジア諸国連合 (ASEAN)	10カ国	6億7,945万人	3兆6,223億米ドル	5,331米ドル
欧州連合 (EU)	27カ国	4億4,796万人	16兆6,413億米ドル	37,150米ドル
北米自由貿易協定 (NAFTA)	3カ国 米国、カナダ、 メキシコ	5億人	29兆167億米ドル	58,066米ドル
南米共同市場 (MERCOSUR)	6カ国	3億1228万人	2兆7,088億米ドル	8,674米ドル

(出所) 人口、G D P : World Bank, World Development Indicators database

貿易 : IMF, Direction of Trade Statistics

(注) 1人当たりG D Pは、名目G D Pを人口で除して当室で算出

MERCOSUR : アルゼンチン、ボリビア、ブラジル、パラグアイ、ウルグアイ、ベネズエラ

(ただし、GDPについてはベネズエラを除いて計算)

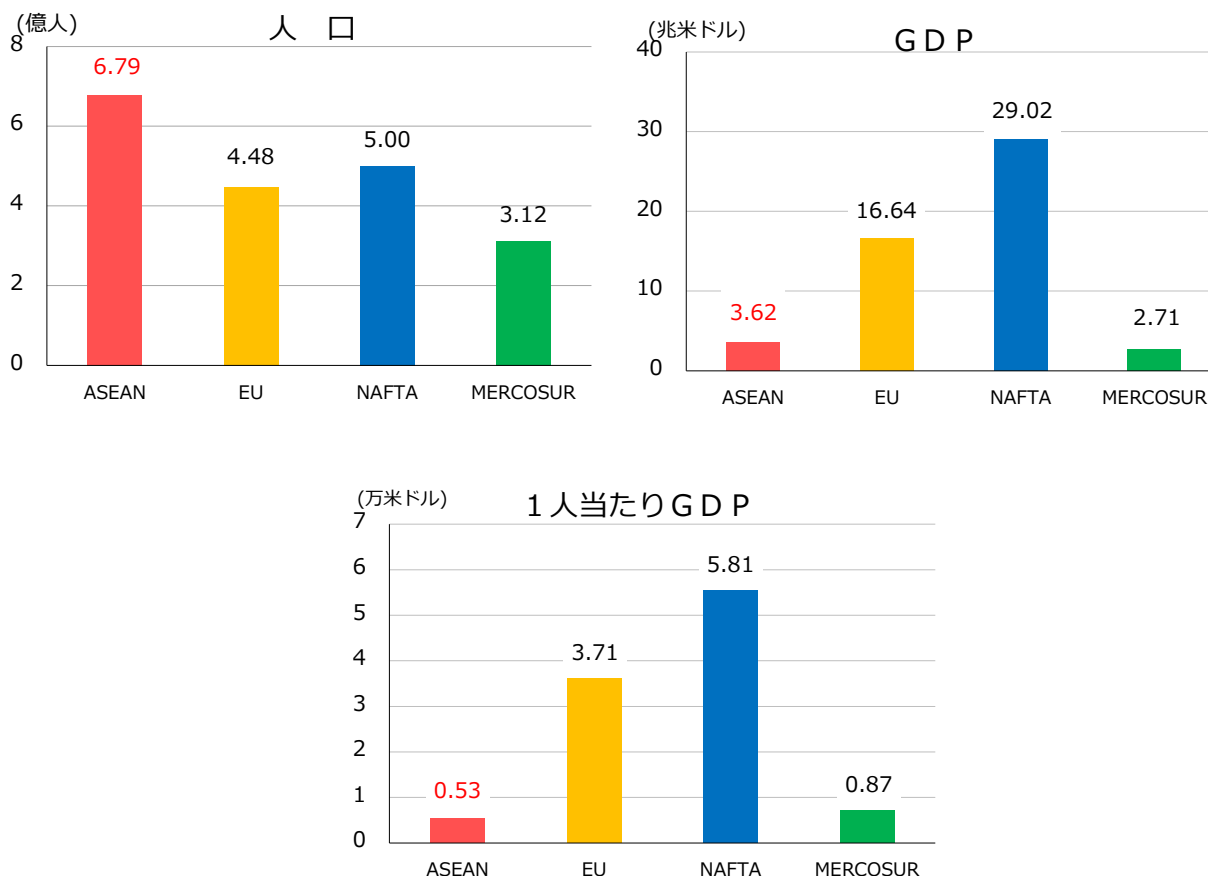
EU : ベルギー、ドイツ、フランス、イタリア、ルクセンブルク、オランダ、デンマーク、アイルランド、

ギリシャ、スペイン、ポルトガル、フィンランド、オーストリア、スウェーデン、ポーランド、

ハンガリー、チェコ、スロベニア、スロバキア、エストニア、ラトビア、リトアニア、キプロス、

マルタ、ルーマニア、ブルガリア、クロアチア

○ ASEANは経済規模ではEU及びNAFTAを下回るものの、人口では上回る。

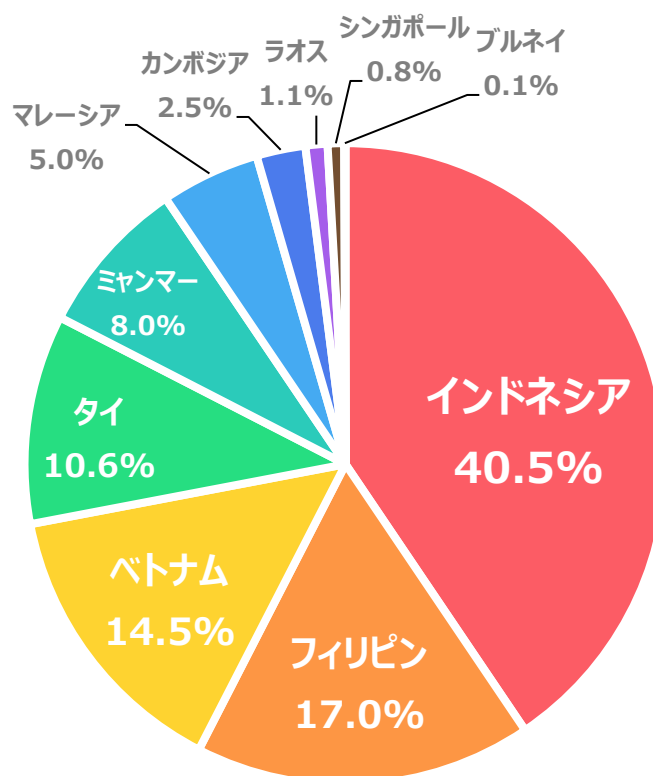


### (3) 人口 (2022年)

	人口 (万人)	構成比 (%)	
		世界	ASEAN内
ブルネイ	45	0.0	0.1
カンボジア	1,677	0.2	2.5
インドネシア	27,550	3.5	40.5
ラオス	753	0.1	1.1
マレーシア	3,394	0.4	5.0
ミャンマー	5,418	0.7	8.0
フィリピン	11,556	1.5	17.0
シンガポール	564	0.1	0.8
タイ	7,170	0.9	10.6
ベトナム	9,819	1.2	14.5
<b>ASEAN</b>	<b>67,945</b>	<b>8.5</b>	<b>100.0</b>
日本	12,512	1.6	
中国	141,218	17.8	
韓国	5,163	0.6	
世界計	795,115	100.0	

(出所) World Bank, World Development Indicators database

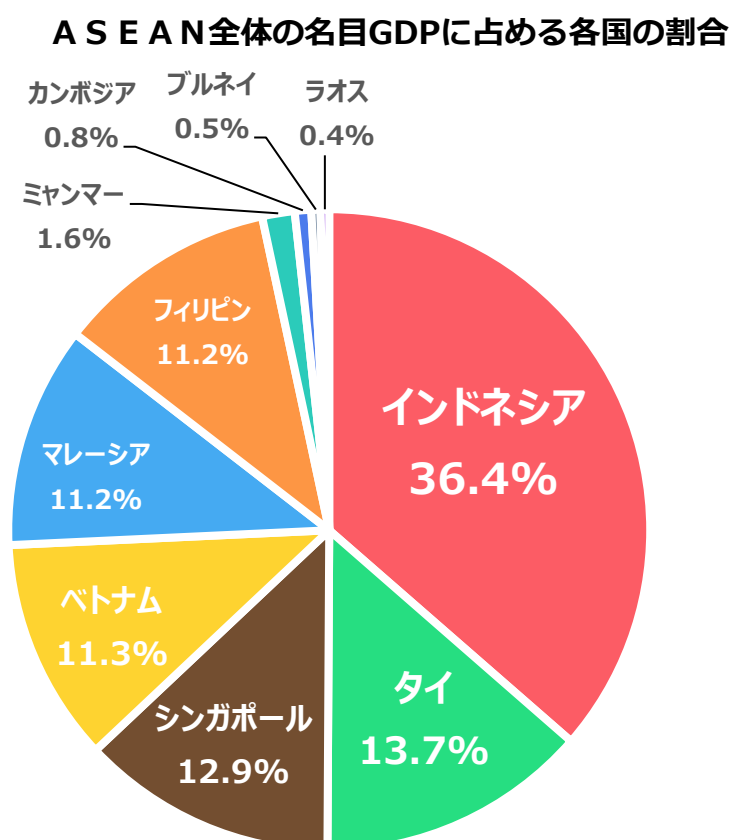
ASEAN全体の人口に占める各国の割合



#### (4) 名目GDP (2022年)

	名目GDP (億米ドル)	構成比 (%)	
		対世界	ASEAN内
ブルネイ	167	0.0	0.5
カンボジア	300	0.0	0.8
インドネシア	13,191	1.3	36.4
ラオス	157	0.0	0.4
マレーシア	4,063	0.4	11.2
ミャンマー	594	0.1	1.6
フィリピン	4,043	0.4	11.2
シンガポール	4,668	0.5	12.9
タイ	4,953	0.5	13.7
ベトナム	4,088	0.4	11.3
<b>ASEAN</b>	<b>36,223</b>	<b>3.6</b>	<b>100.0</b>
日本	42,311	4.2	
中国	179,632	17.9	
韓国	16,652	1.7	
世界計	1,005,620	100.0	

(出所) World Bank, World Development Indicators database

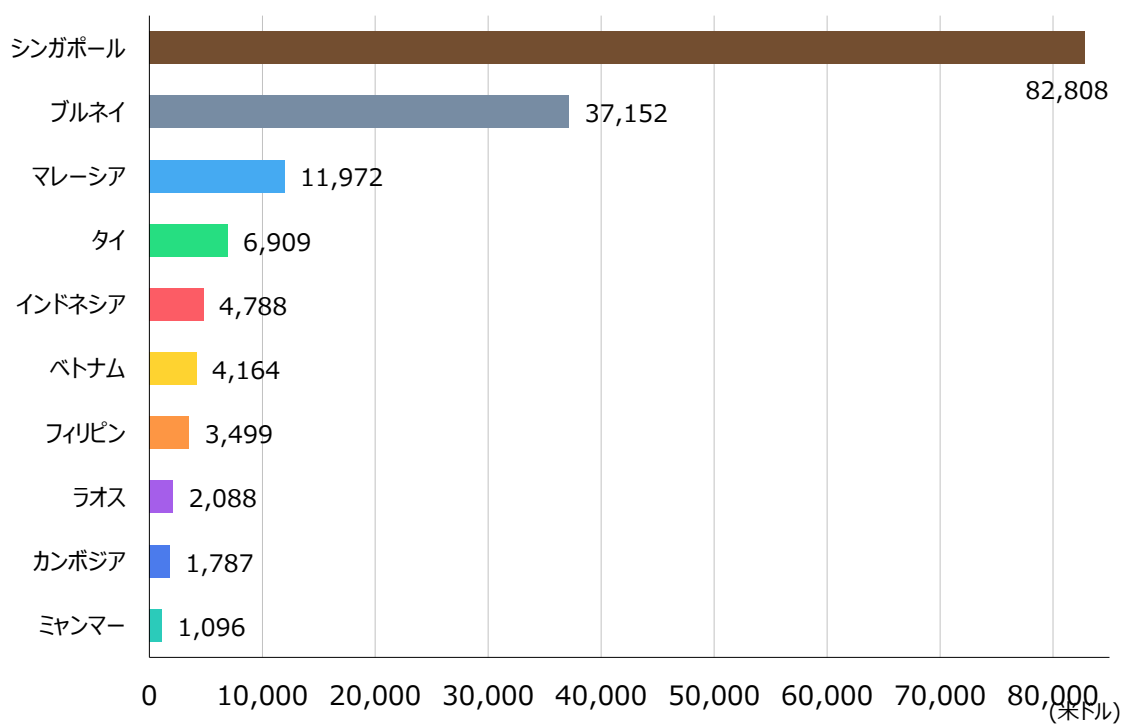


## (5) 1人当たりGDP (2022年)

	1人当GDP (米ドル)
ブルネイ	37,152
カンボジア	1,787
インドネシア	4,788
ラオス	2,088
マレーシア	11,972
ミャンマー	1,096
フィリピン	3,499
シンガポール	82,808
タイ	6,909
ベトナム	4,164
ASEAN	5,331
日本	33,815
中国	12,720
韓国	32,255
世界平均	12,647

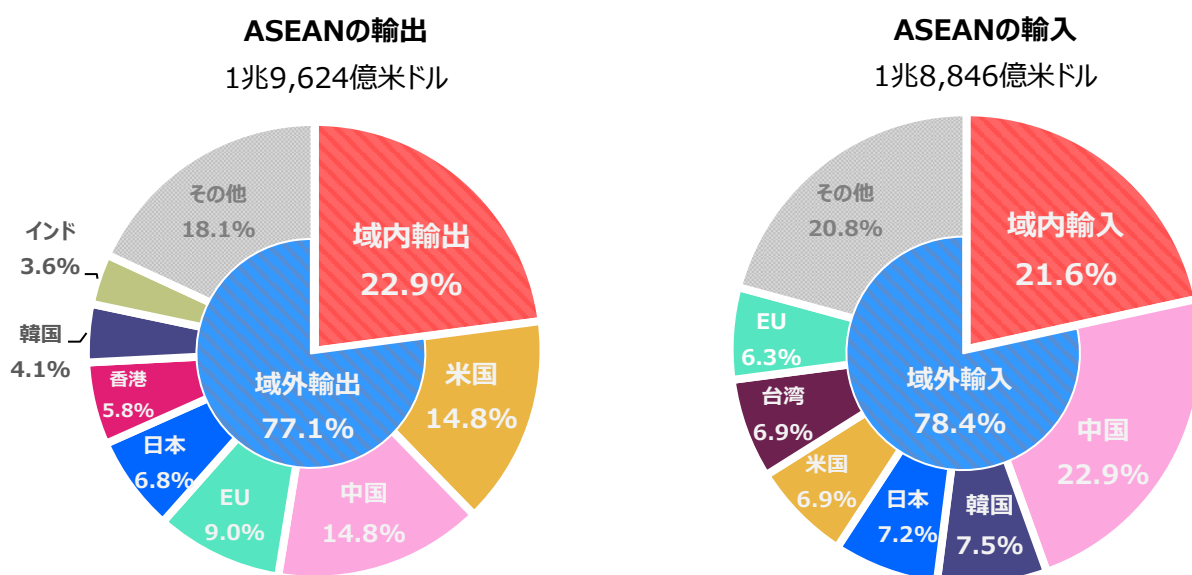
(出所) World Bank, World Development Indicators database

### ASEAN各国の1人当たりGDPの比較



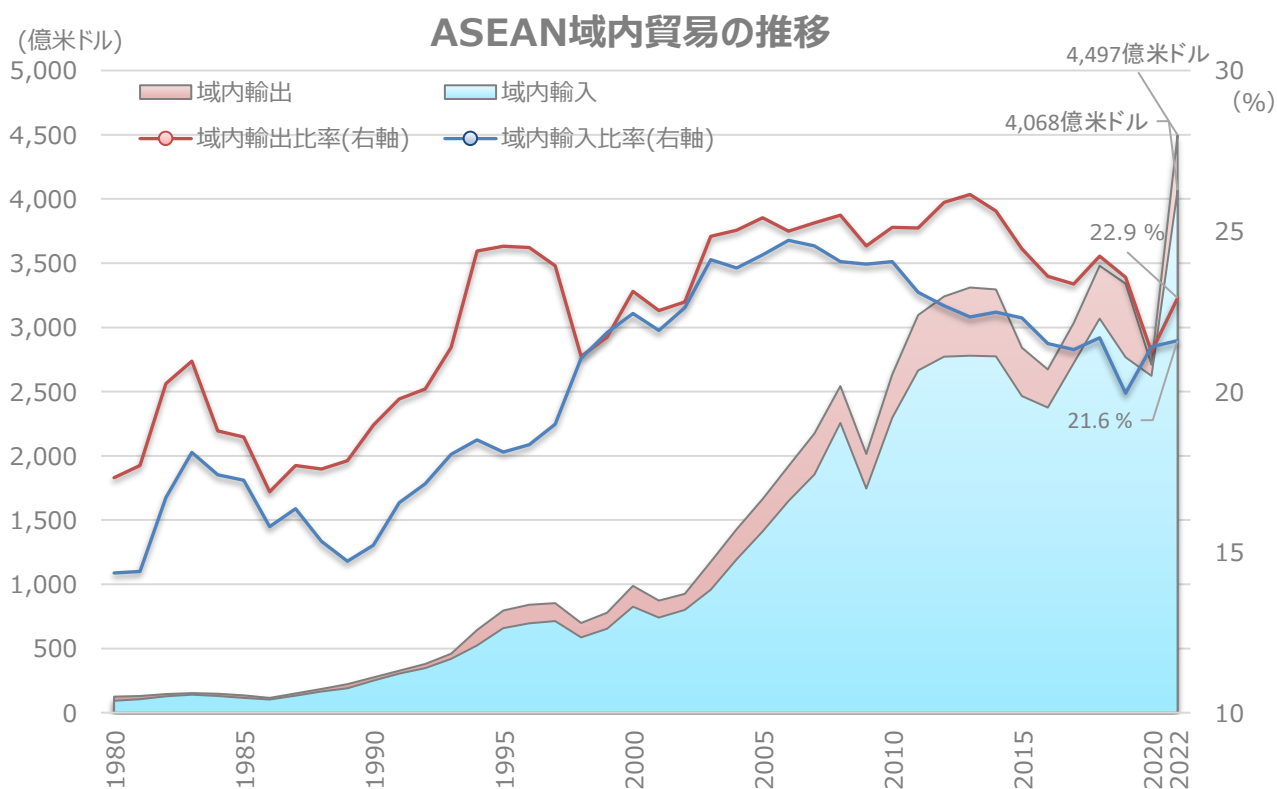
## (6) ASEANの貿易(2022年)

○ ASEANは輸出、輸入とも、ASEAN域内が20%前後を占める。



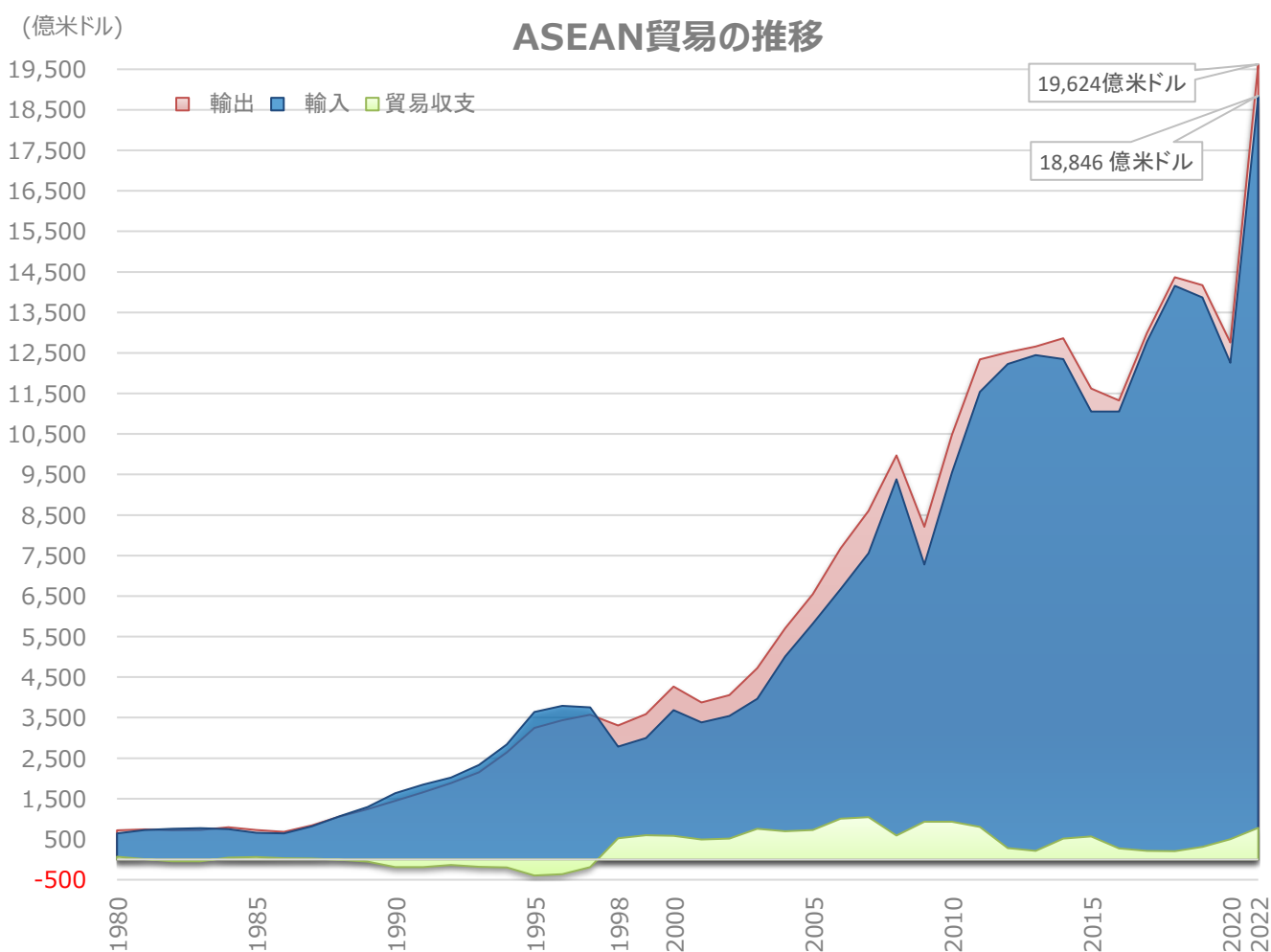
(出所) ASEANstatsDataPortal

## (7) ASEANの域内貿易 (2022年)



(出所) ASEANstatsDataPortal

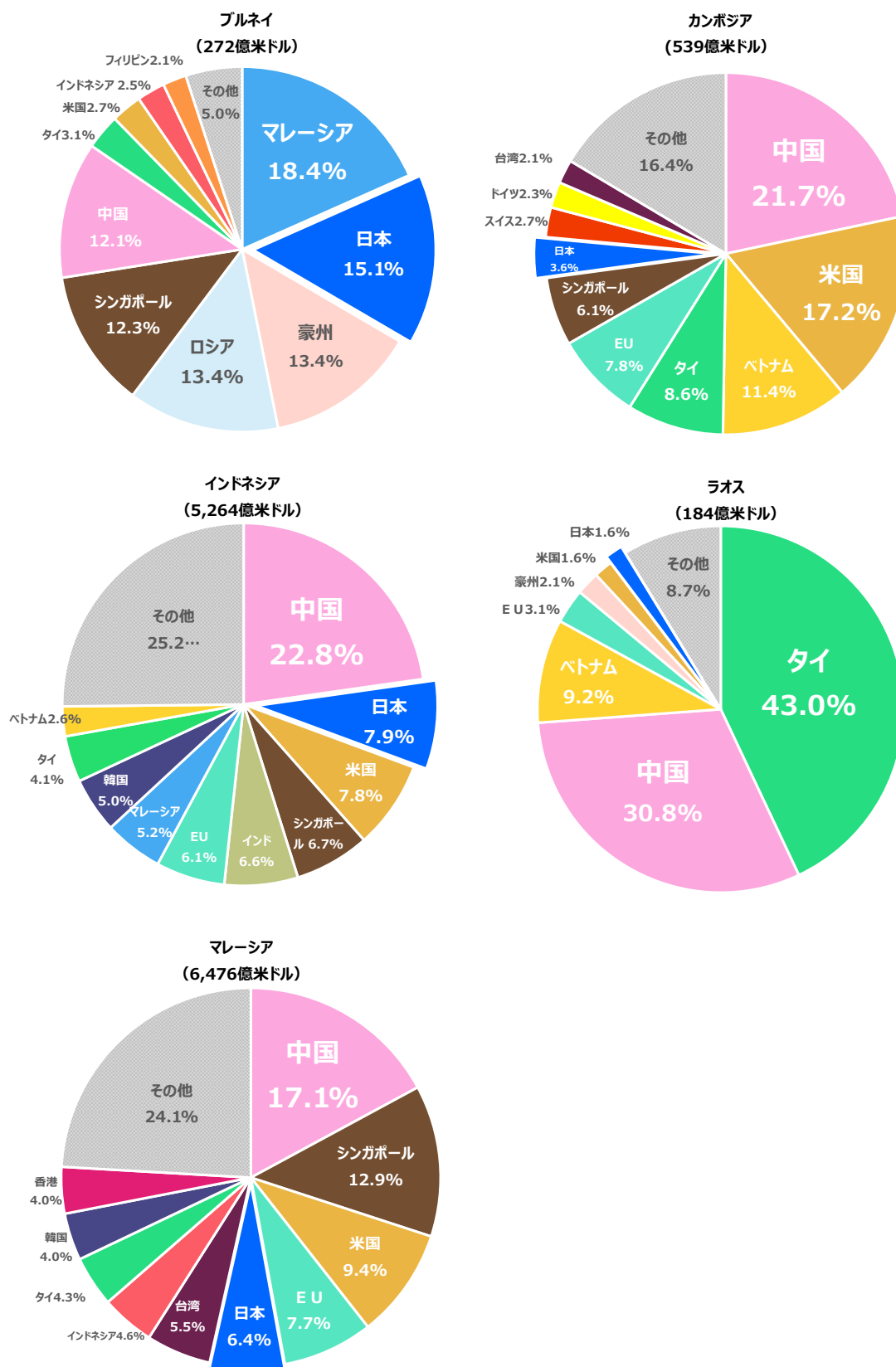
## (8) ASEANの貿易収支 (2022年)



(出所) ASEANstatsDataPortal

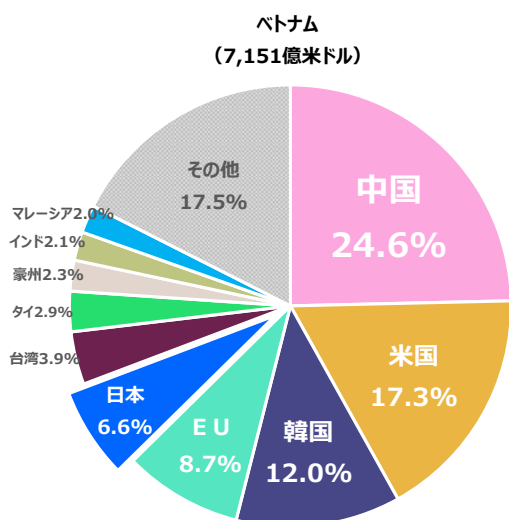
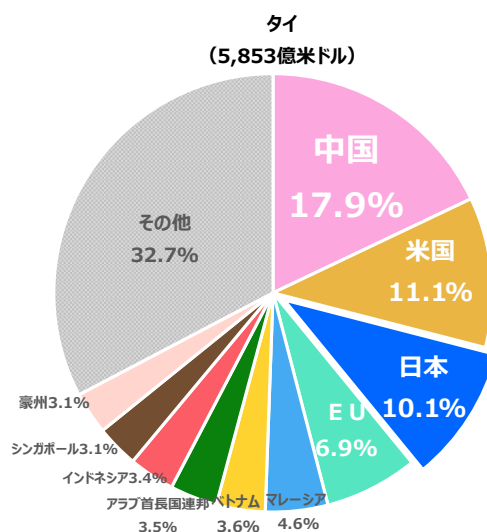
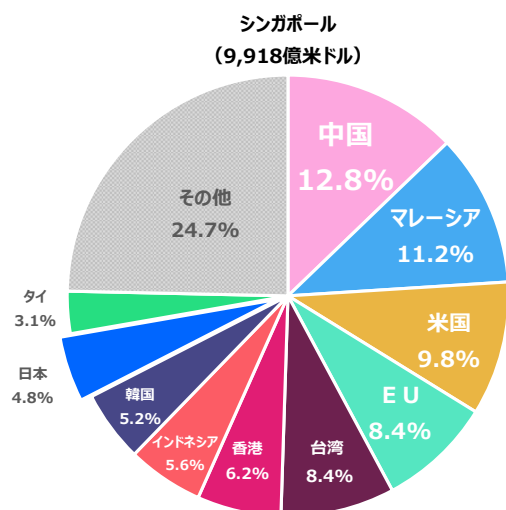
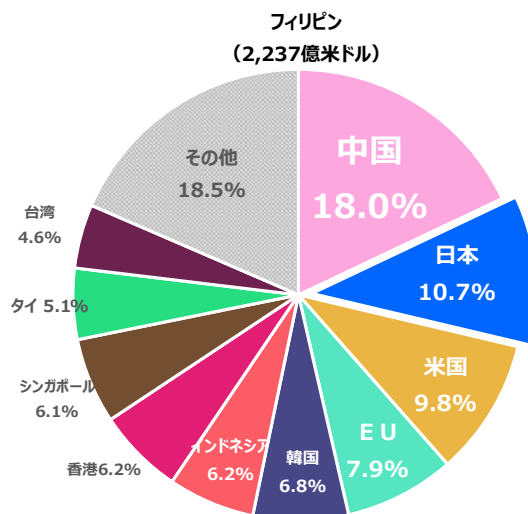
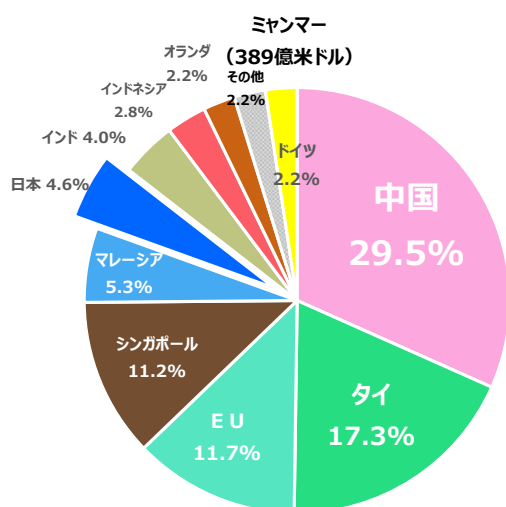


(9) ASEAN各国の主要貿易相手国 (輸出+輸入の貿易総額) (2022年)



(出所) IMF, Direction of Trade Statistics

(9) ASEAN各国の主要貿易相手国 (輸出+輸入の貿易総額) (2022年)

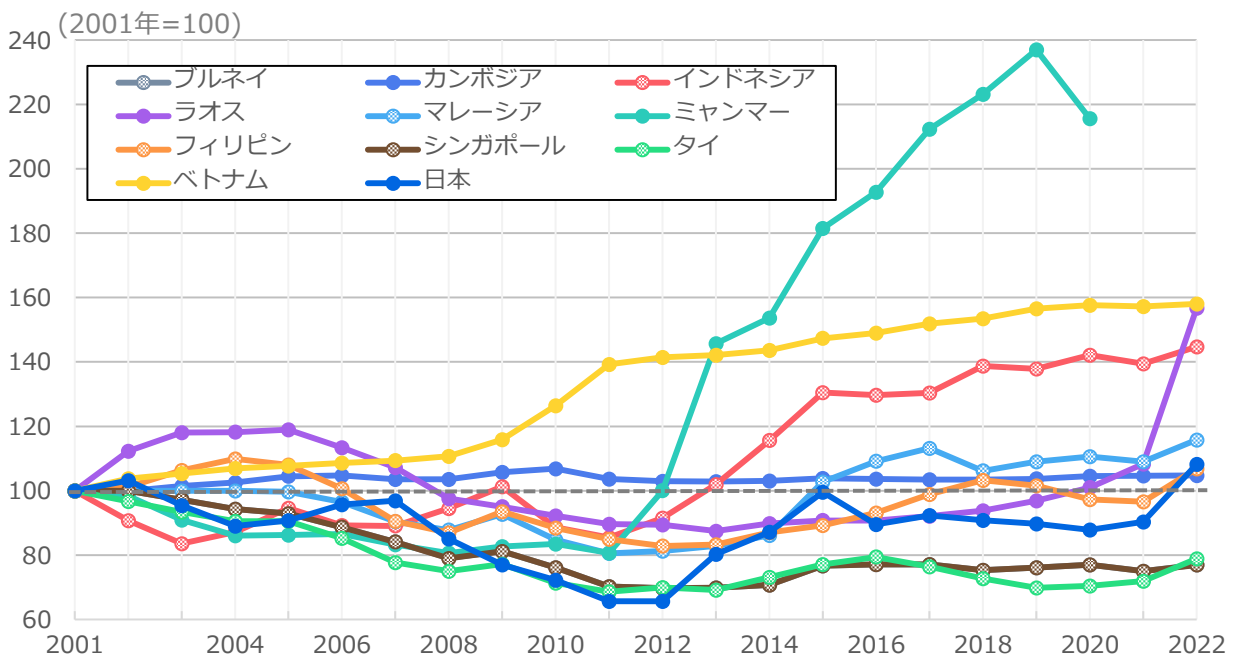


(出所) IMF, Direction of Trade Statistics

## 2. ASEAN各国経済情勢

### (1) 対米ドル為替レート推移 (2022年)

○ 2011年以降は横ばい、又は上昇（自国通貨は下落）傾向にある。



(出所) World Bank, World Development Indicators

(注) 2001年の各国通貨の対米ドル・レート(年間平均値)を100として指数化

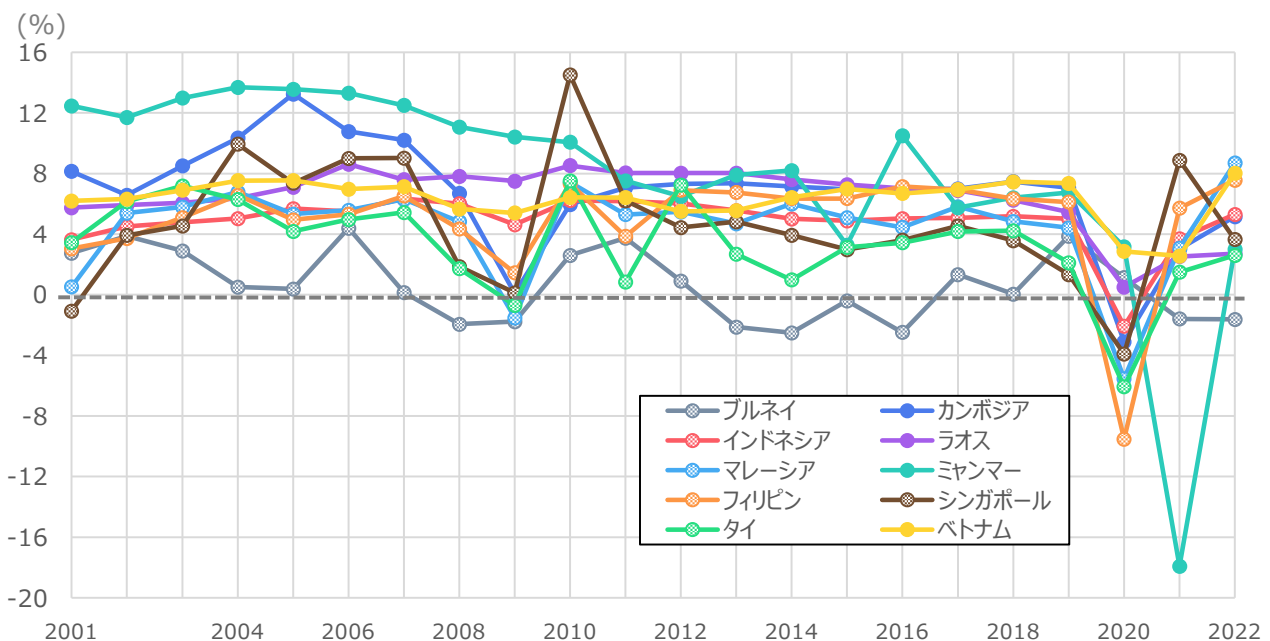
シンガポールドルとブルネイドルはペッグしている。

ミャンマーは2012年に為替制度が大きく変わったため、同年以降は2012年を100として計算。

2021年以降はデータなし。

### (2) 実質GDP成長率 (2022年)

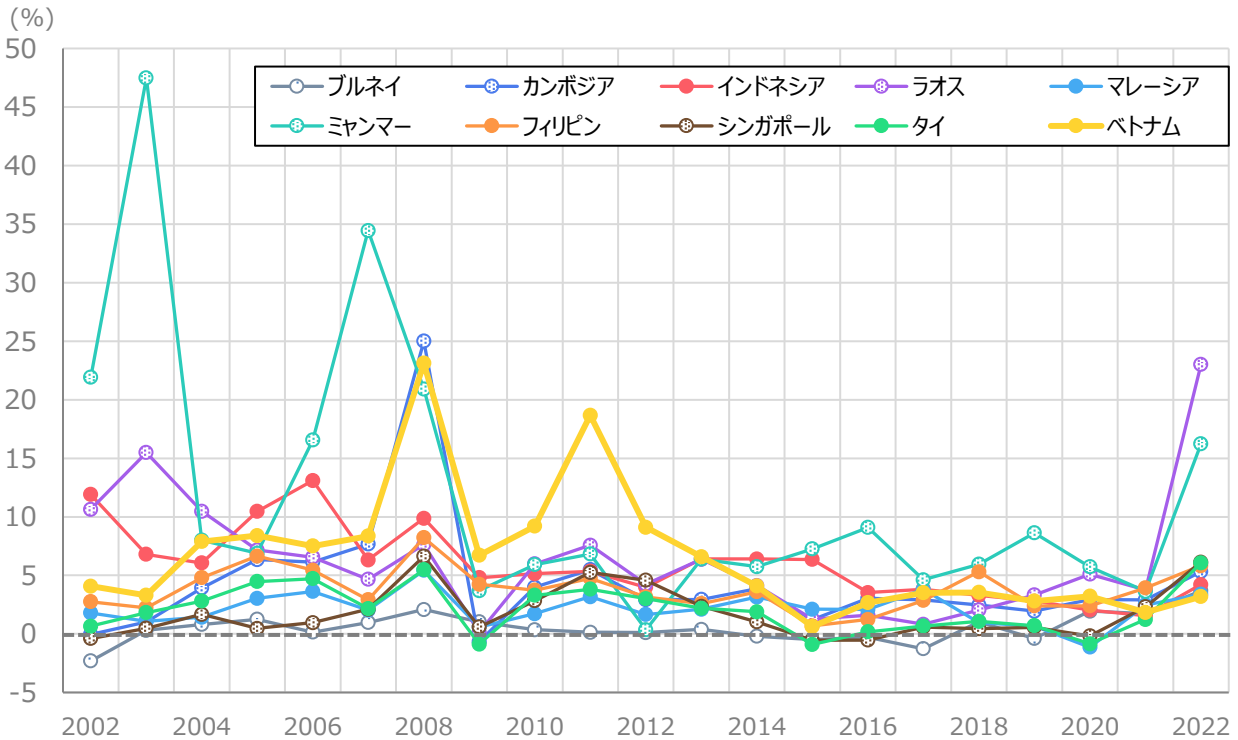
○ 2009年は世界経済危機の影響から全体的に落ち込むも、2010年以降は持ち直す。  
2020年で大幅に落ち込むも、2021年以降は一部を除き回復傾向。



(出所) World bank, World Development Indicators

### (3) 消費者物価上昇率（前年同期比）（2022年）

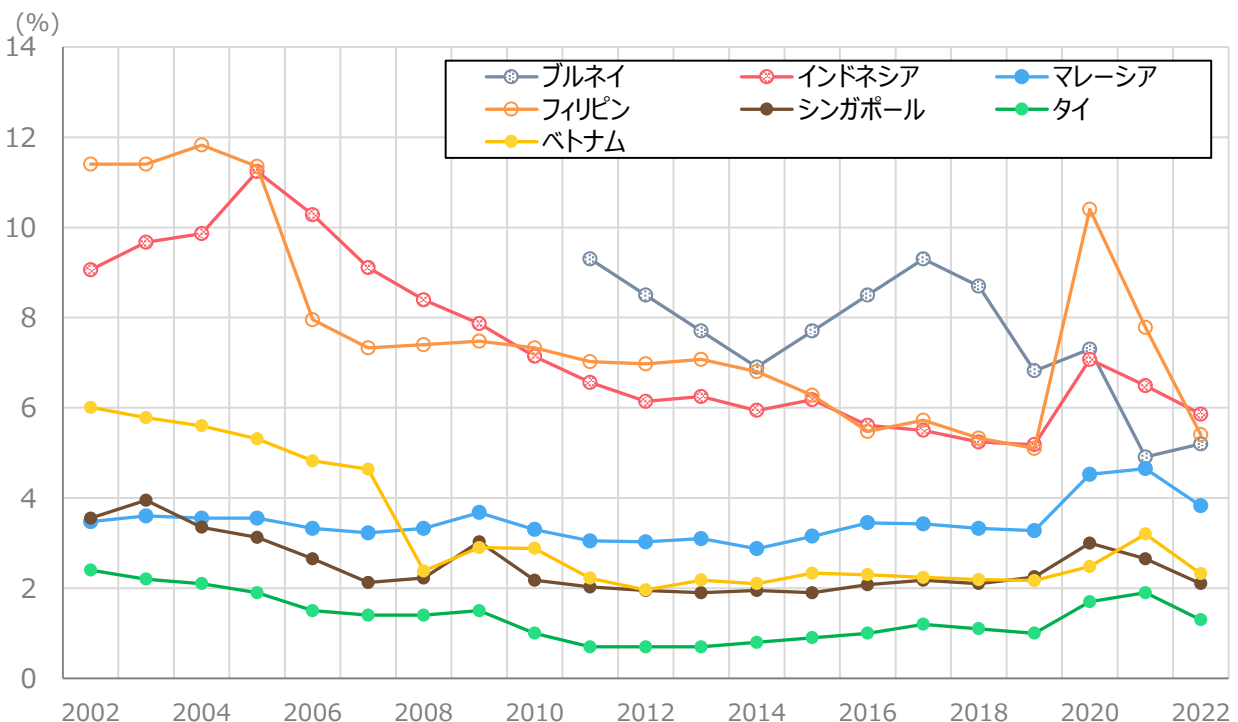
- 堅調な経済成長に伴い、物価は上昇傾向。過去にカンボジア、ベトナム、ミャンマーにおける急激な物価上昇があったが、近年は抑制傾向にある。



(出所) IMF, World Economic Outlook database

### (4) 失業率（2022年）

- 比較的失業率が高かったインドネシア、フィリピン及びベトナムは大きく改善。  
2020年以降は新型コロナウイルスの影響もあり全体的に悪化した。

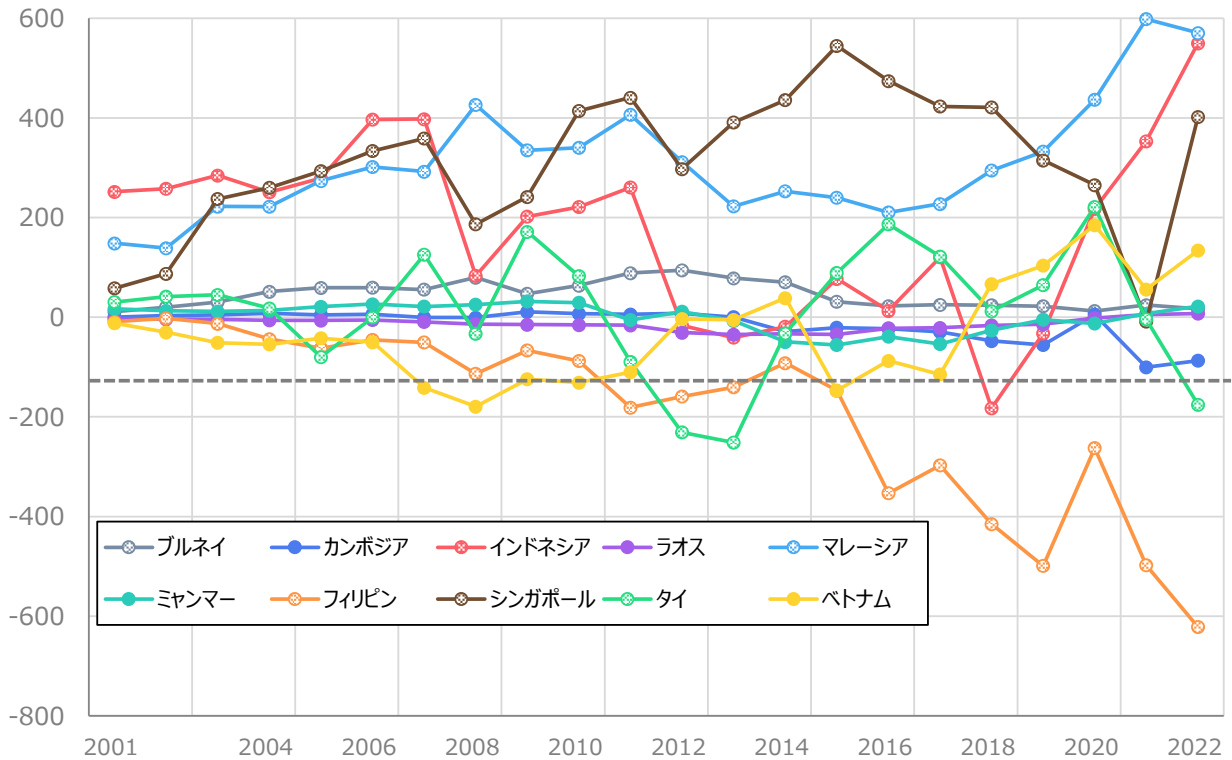


(出所) IMF, World Economic Outlook database

## (5) 貿易収支 (2022年)

○マレーシア、ブルネイは、2001年以降継続的貿易黒字国。

(億米ドル)

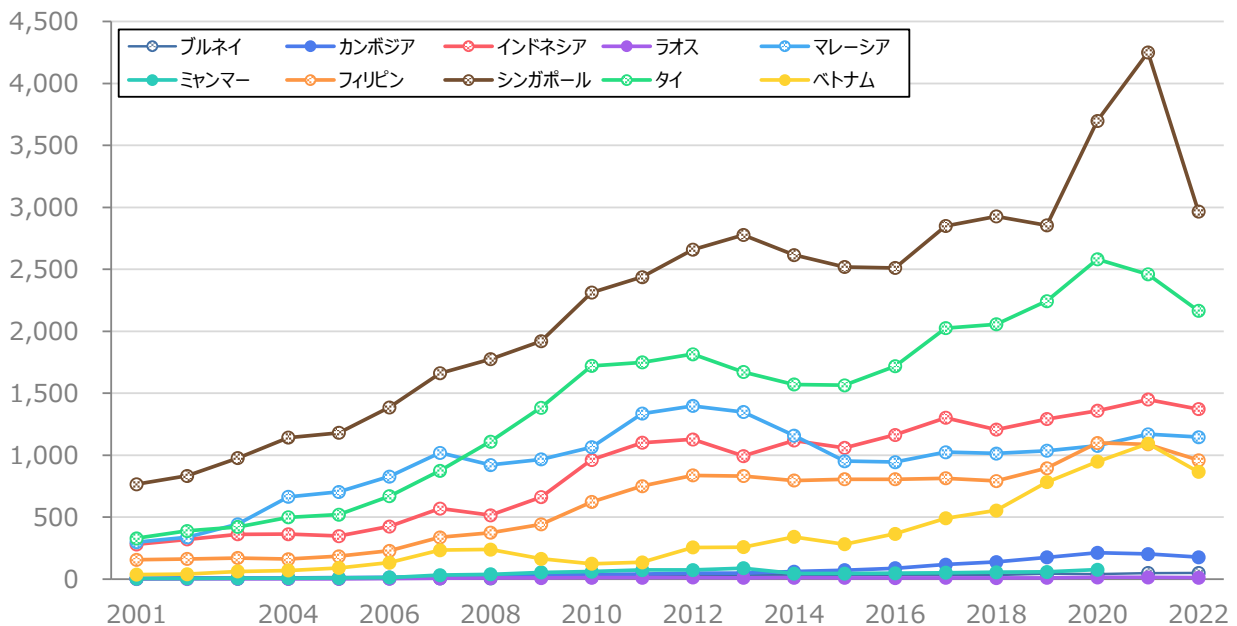


(出所) IMF, Direction of Trade Statistics

## (6) 外貨準備高 (2022年末値)

○シンガポール及びタイが大きく他を引き離す。2015年からは全体的に上昇傾向。

(億米ドル)

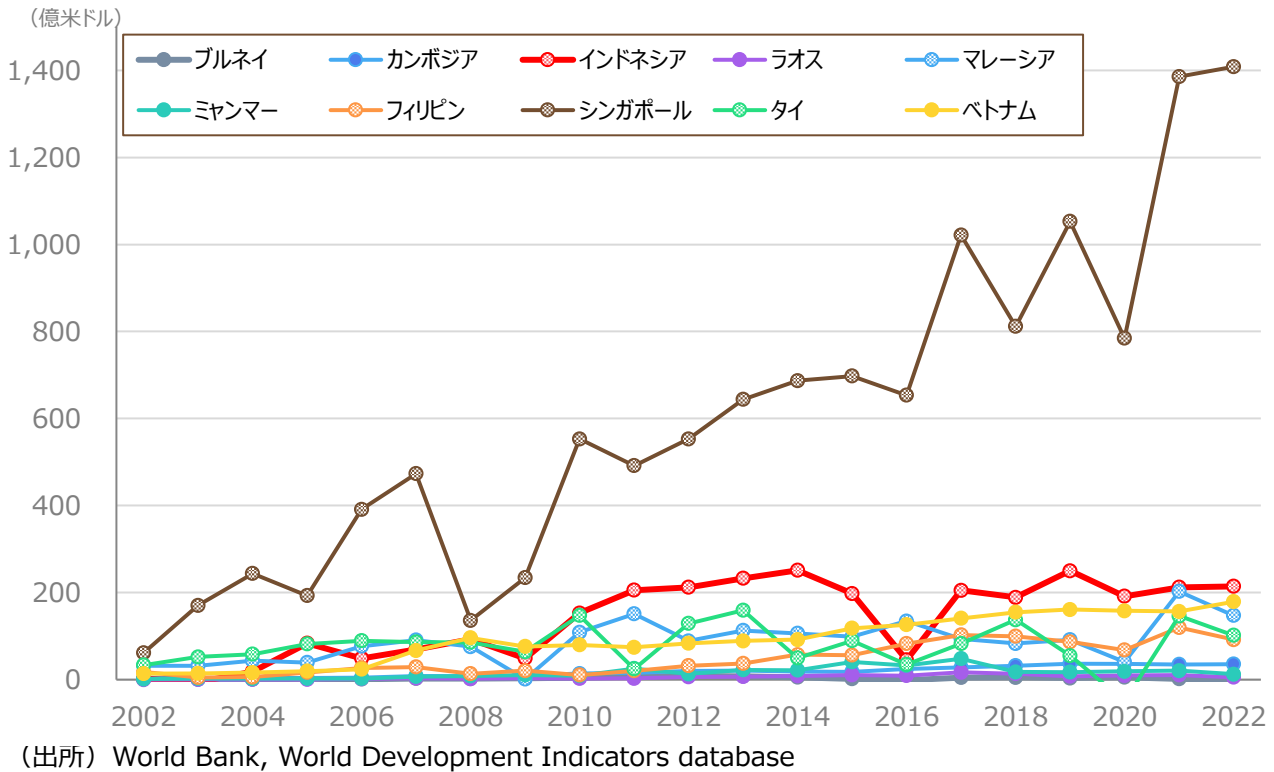


(出所) World Bank, World Development Indicators database

(注) ミャンマーは2021年以降データ無し

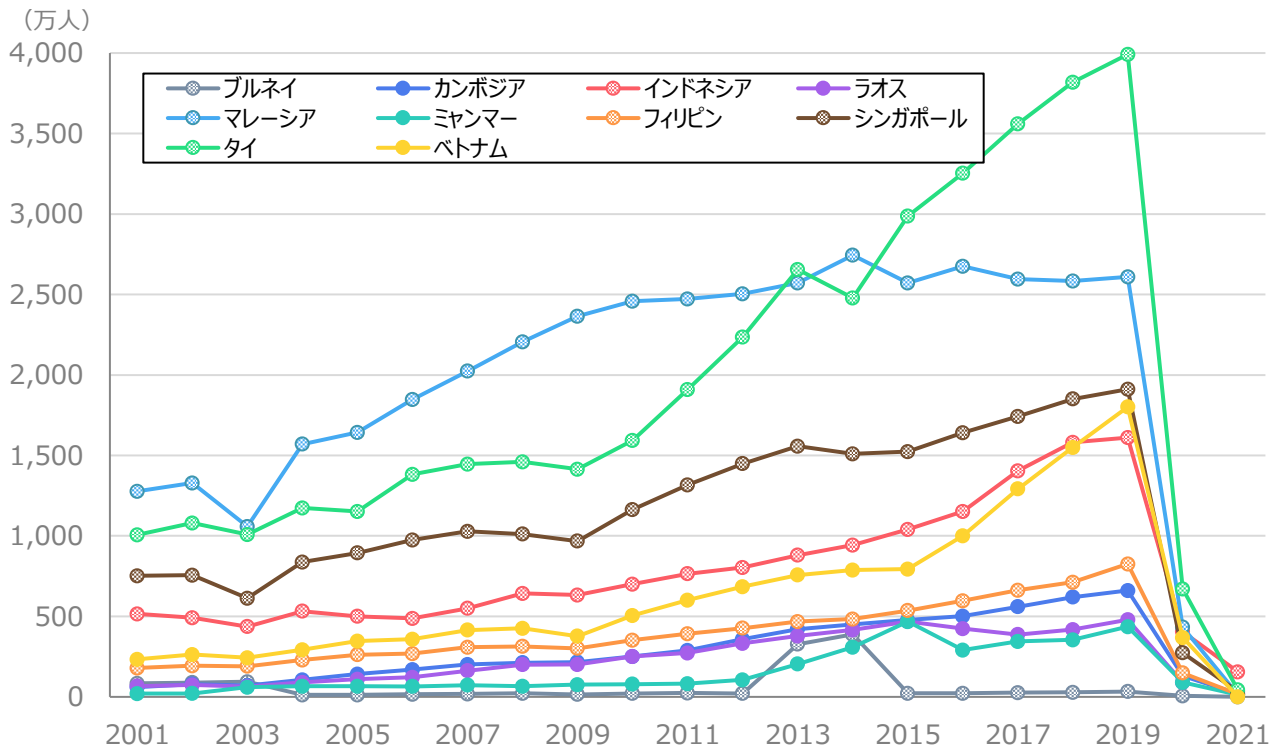
## (7) 対内直接投資（2022年）

○ シンガポールへの投資が圧倒的に多い状態が続いている。



## (8) 訪問観光客（2021年）

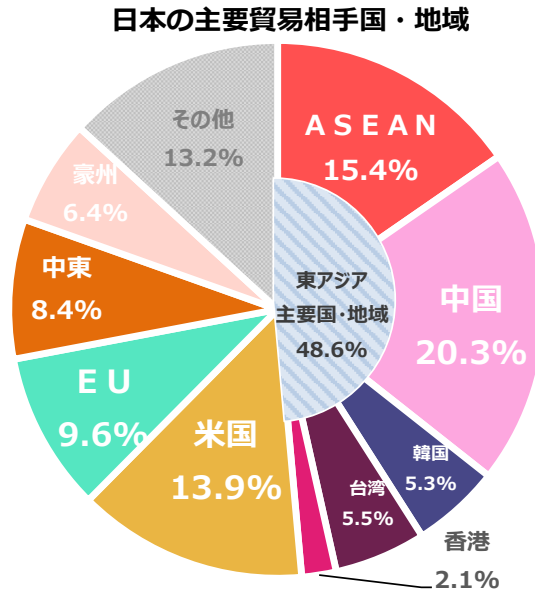
○ 全体的に堅調な増加傾向が続いていたが、新型コロナの影響で軒並み減少。



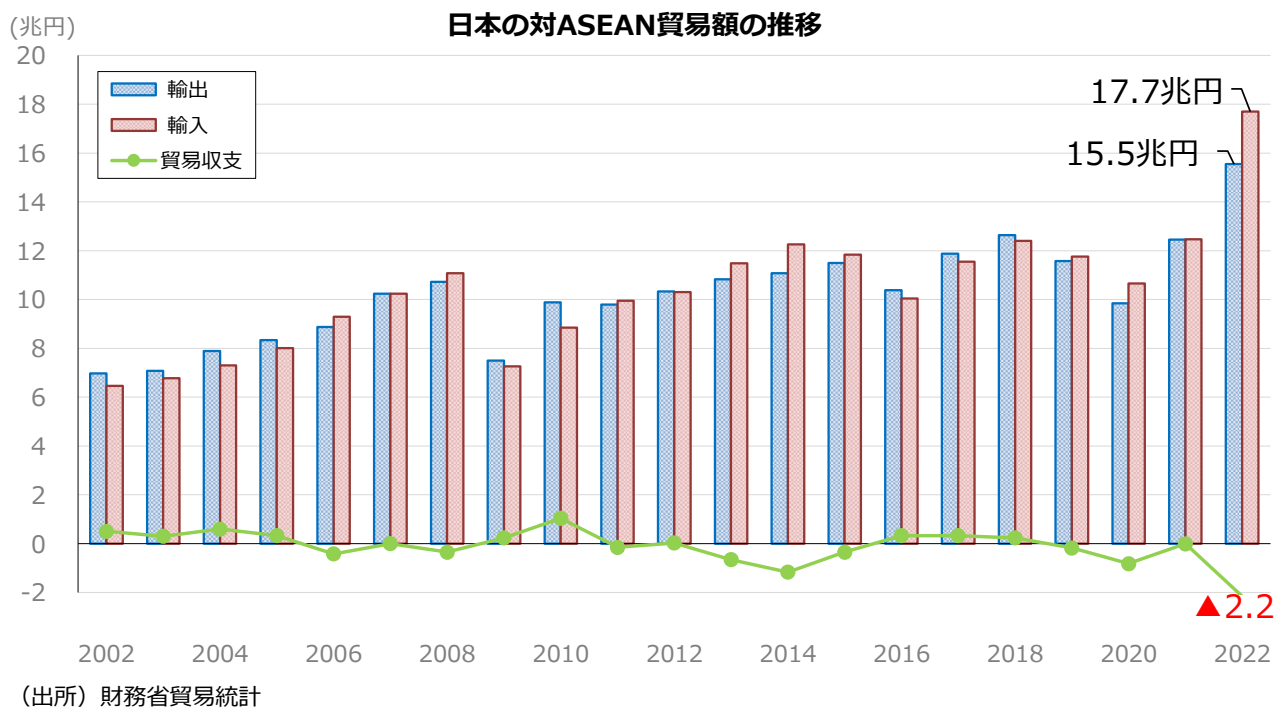
### 3. 日本とASEANとの関係

#### (1) 日本対ASEAN貿易 (2022年)

- 日本対ASEAN貿易(輸出+輸入)は約33.2兆円であり、対世界貿易(約216.3兆円)の15.4%を占める。

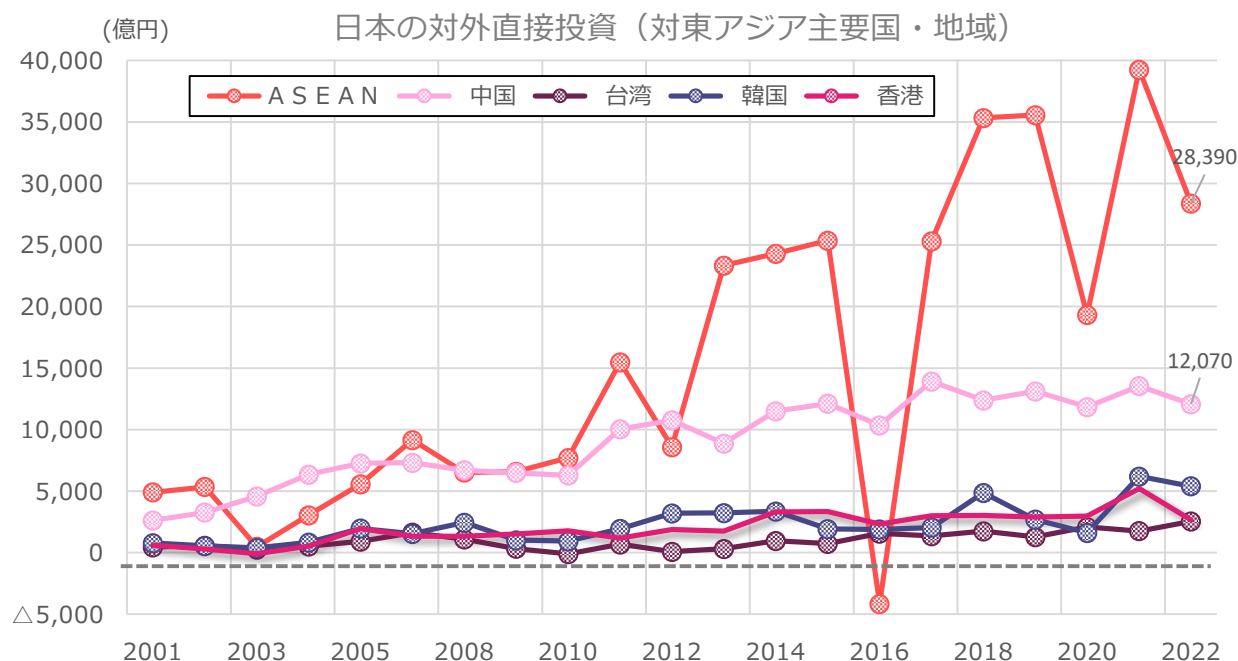


- 日本対ASEAN貿易は、前年比で輸出が24.8%、輸入は42%それぞれ増加。2021年まで貿易赤字は解消されつつあったが、2022年は▲2.2%となった。



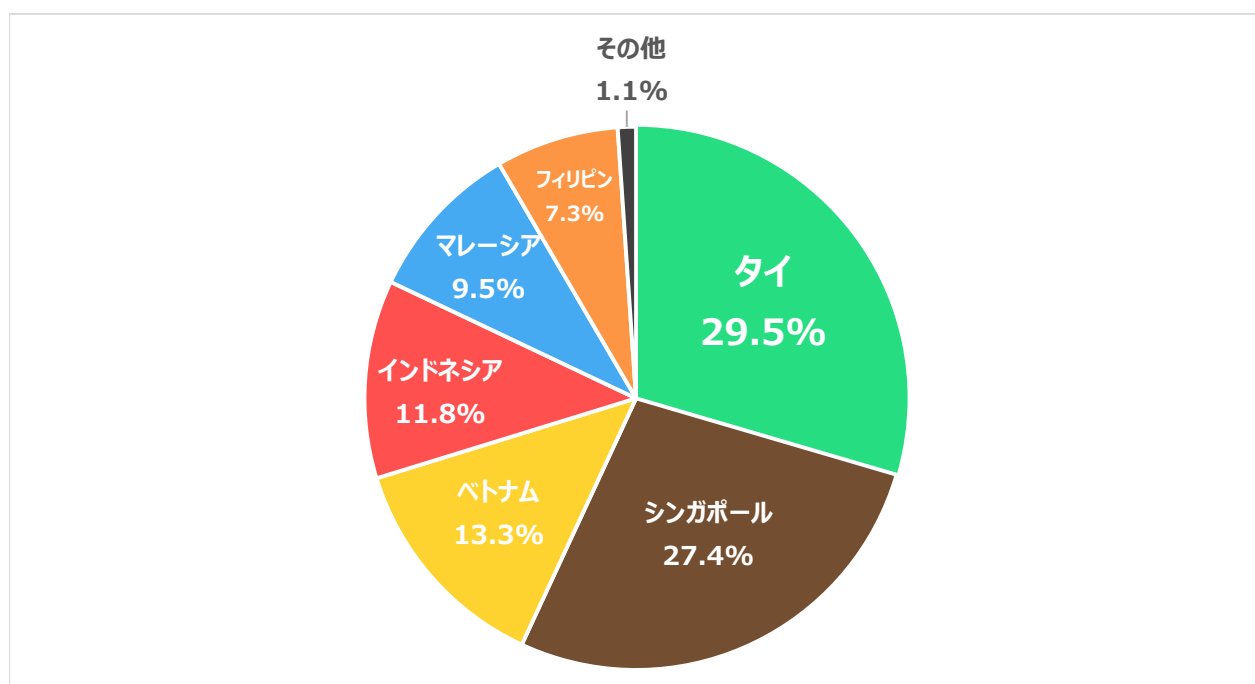
## （２）日本の対ASEAN直接投資（2022年）

- 日本の直接投資は2016年にASEANからの回収が急速に進んだものの、2017年には反転。2022年、再び減少傾向にある。



- 日本の対ASEAN直接投資先はタイ、シンガポールの占める割合が高い。

日本の対ASEAN国別直接投資割合（2022年）

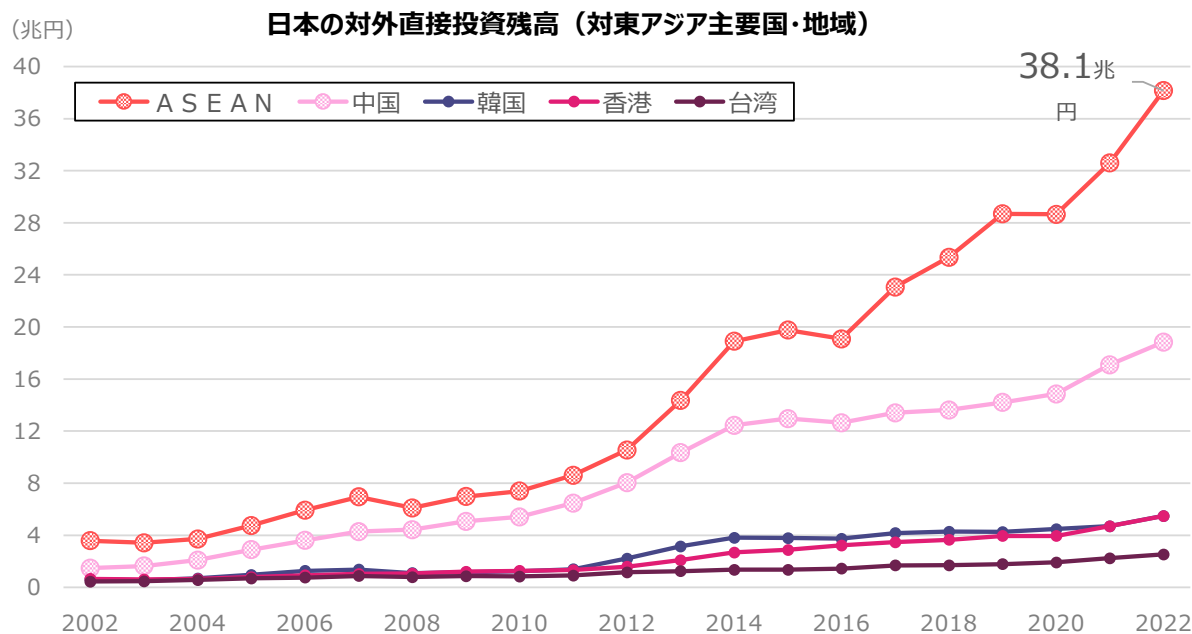


（出所）財務省統計



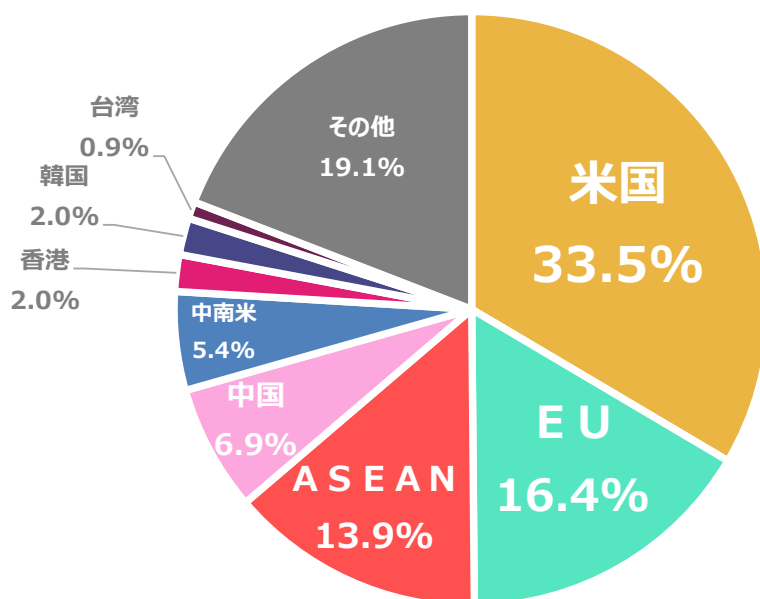
### (3) 日本の対ASEAN直接投資残高(2022年)

- 日本の対ASEAN直接投資残高は高い増加率を維持しており、東アジア地域2位の中国の2倍程度。



- 日本の対ASEAN直接投資残高は、対米国、対EUに次ぐ規模である。

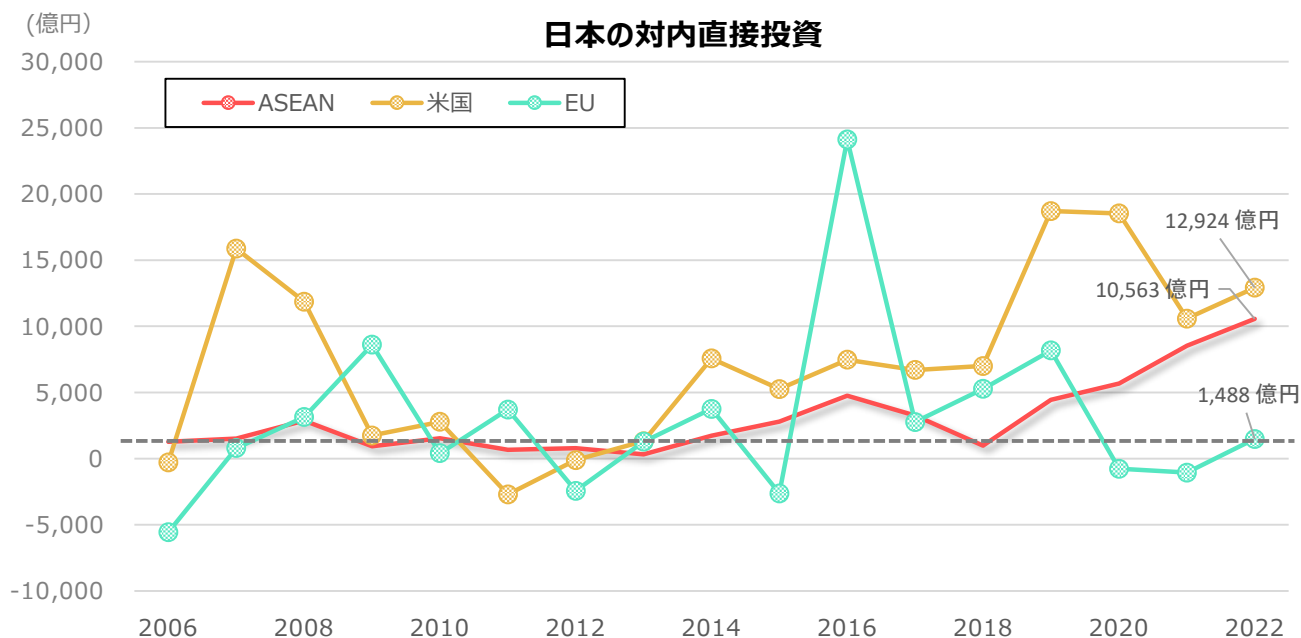
日本の対外直接投資残高の地域別内訳  
(2022年末：274兆7489億円)



(出所) 日本銀行統計

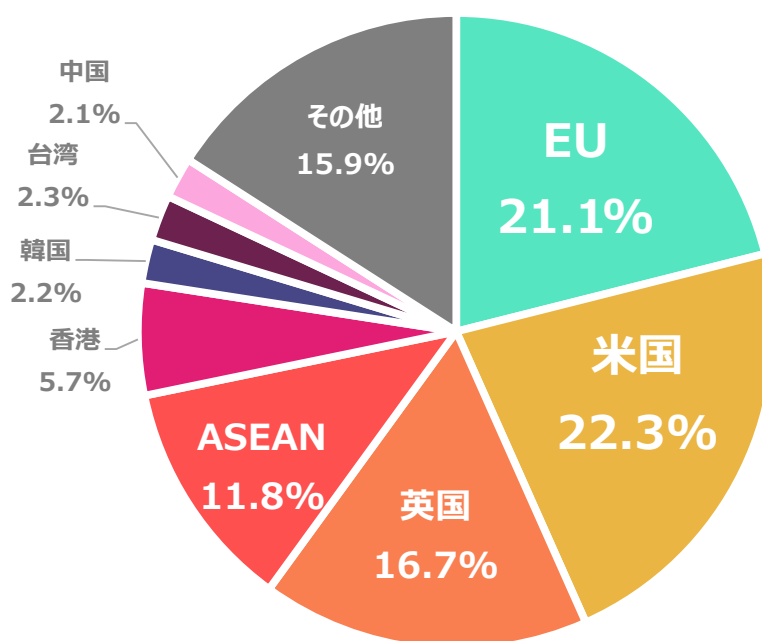
#### （４）日本への対内直接投資（2022年）

ASEANから日本への直接投資は2016年から減少したが、それ以降は増加。  
2020年にはEUを超え、小幅ながらも全体的には安定した投資が継続している。



○ ASEANから日本への直接投資残高は、EU、米国、英国に次ぐ規模である。

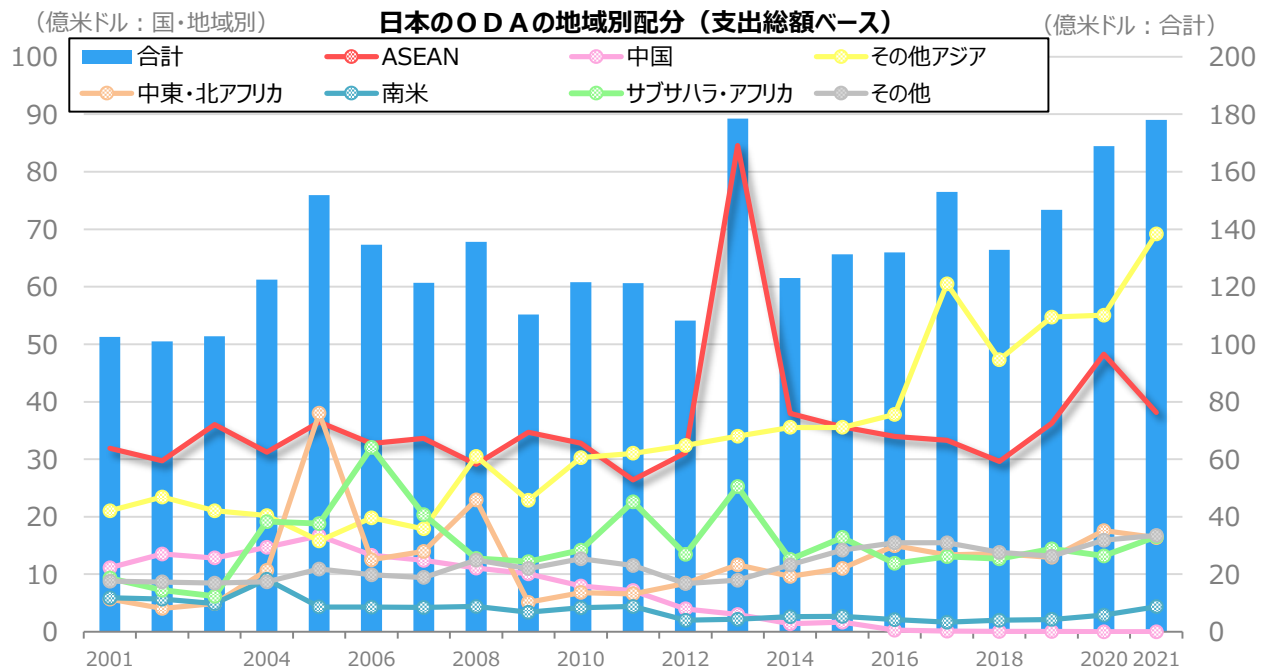
**日本への対内直接投資残高の地域別内訳**  
(2022年末：46兆1680億円)



（出所）財務省統計、日銀

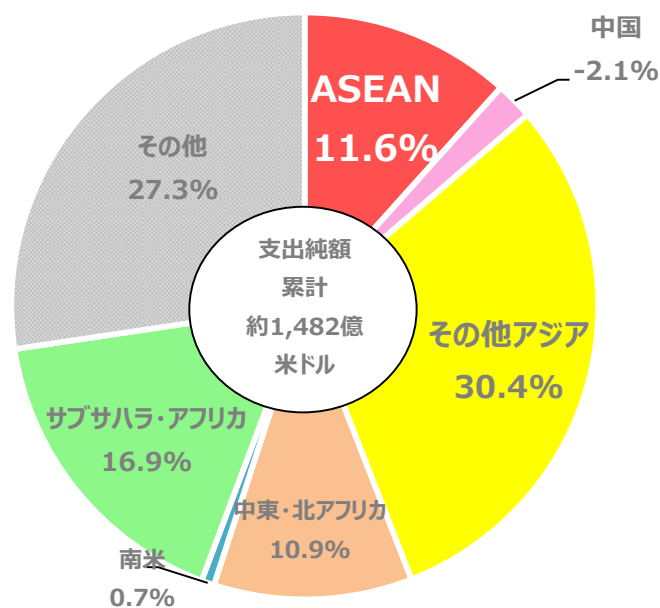
## (5) 日本のODA実績(2021年)

- ASEANに対するODA支出額は高い割合を維持しており、2013年(日・ASEAN友好協力40周年)には約85億ドルを拠出。2021年では約38億米ドルであり、全体の21%を占める。



日本のODA供与先累積(過去20年間)

(2001-2021支出純額ベース)



(出所) OECD/DAC

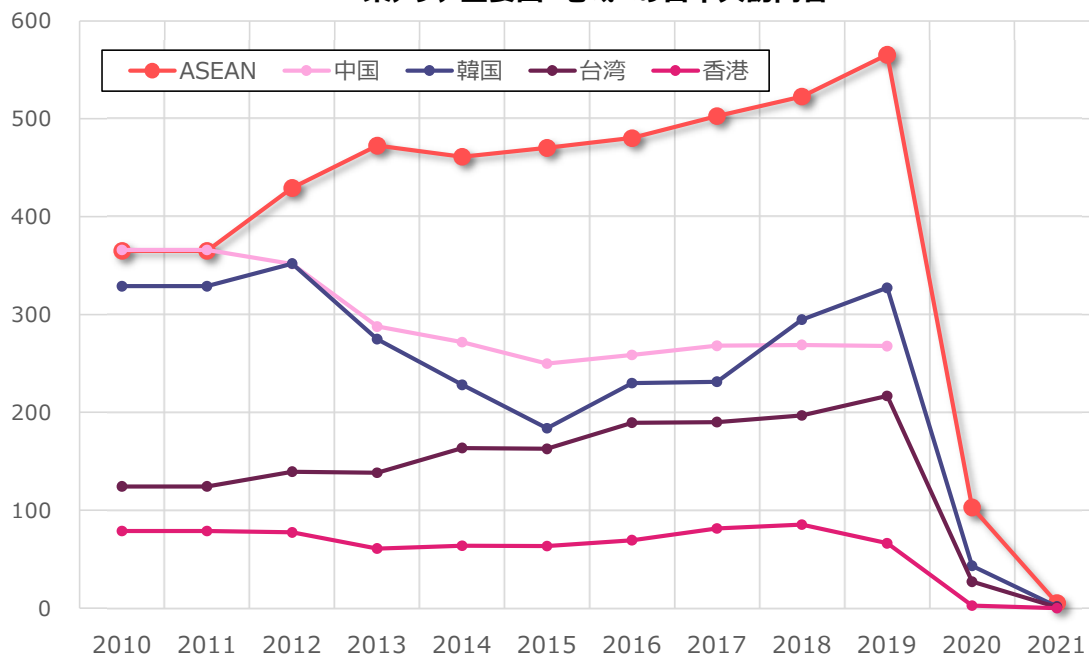
(注) ODA支出純額：一定期間における支出総額から回収額(被援助国から援助供与国への貸付の返済額)を差し引いた額

## (6) 日本とASEANの人的交流（2021年）

- 2012年からASEANは、日本人の最大の訪問先となっているが、2020-21年は入国制限により全体で大幅に減少。（中国については、2020年以降公表されていない）

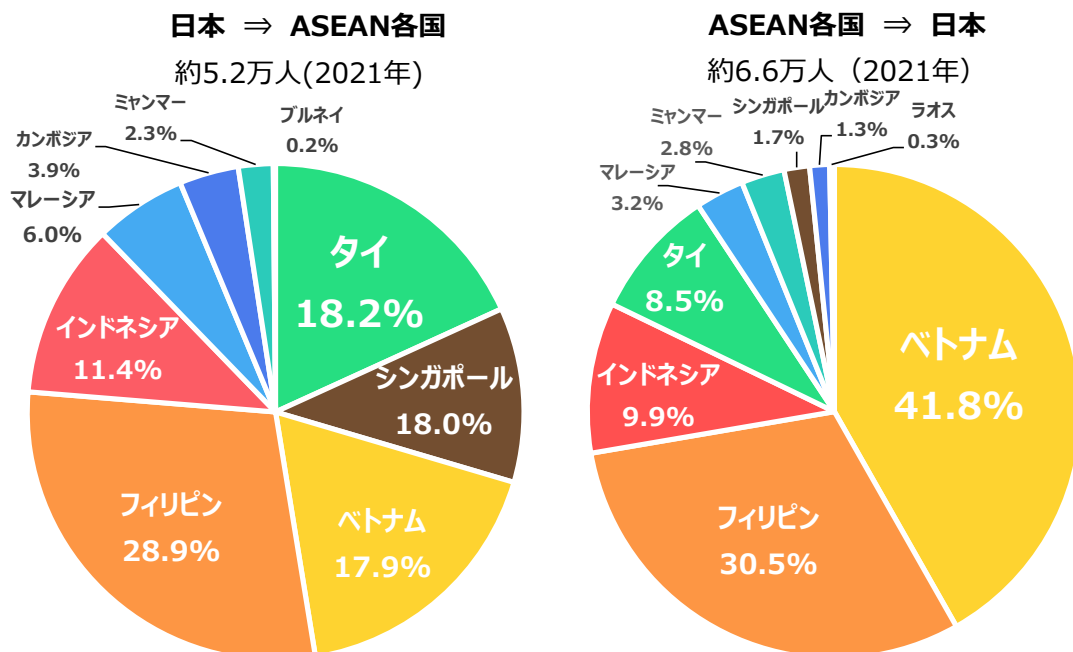
（万人）

東アジア主要国・地域への日本人訪問客



（出所）日本政府観光局（JNTO）統計

- 2020年及び2021年は新型コロナによる入国制限の影響でASEAN各国からの入国者も大幅に減少。



（出所）日本政府観光局（JNTO）統計、法務省出入国管理統計

（注）「各国・地域別日本人訪問者数（2021年）」（JNTO）のラオスのデータは公表されていない。